

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料1

公表: 2023年 3月2日

事業所名 ひっぼファミリーKid's

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	基準の広さより広めにスペースをとっています。	
	2	職員の配置数は適切である	5	1		通所児童の特性を考えると少し配置の検討が必要
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1	玄関から活動場所はほぼバリアフリー	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		PDCAサイクルを定期的で開催し、全職員が参加できる体制を作るように計画しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	5		今後、第三者による外部評価を計画しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	研修時間が取れないため、資料回覧で研修を行っています。	出来るだけみんなが集まり研修が出来るよう時間を作りたいと思います。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	児童の利用前に短時間でも話が出来るように取り組んでいます。	話し合いの時間をもう少し作っていきようになりたいと思います。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	コロナの影響もあり、遠出のお出かけではなく、近くの公園などへのお散歩に切り替えるようにしています。	コロナが落ち着いてきたら、外出プログラムも増やしていきたいと思います。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	空き時間を利用して、伝達していきようになっています。	全員が把握していけるように時間を作るようにしていきたいと思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	空き時間を利用して、話し合いの時間を作っています。	気が付いたことは、次の日でも良いので話をお聞く時間を各個人で作るようになっている。今後は、職員みんなで話し合い、意見を出し合える時間の確保に取り組んでいきたいと思っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0		
	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	6	0	保護者の方から主治医等の情報を得ています。	医療関係者とは直接情報は得ませんが、連絡先は保護者からお聞きしています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	0	児童発達支援事業所とは情報交換を行っています。	保育所や幼稚園からの情報交換が少ないので、今後はご連絡を取り、児童のより良い支援に努めていきたいと思っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	保護者を通して、卒業後の事業所様にお伝えしていただいています。	次の支援先との直接的な支援内容の情報交換は、行っているところと、行っていないところがあります。今後は出来る限りご連絡をとり、情報交換の場を作っていきたいと思っています。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	0		情報を共有して頂ける所とは連携等を共有していきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		コロナの影響もあり、外部の機関との交流が取れていません。落ち着いてきたら、交流会を考えていきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	0	2か月に1度、区部会に参加しています。	今後も部会に参加をいき、自立支援協議会との情報交換に繋がってきたいと思っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	0	保護者様向けのアンガーマネジメントの研修を開催しています。	今後も保護者の方にお聞きして子育て支援に役立つような研修を考えていきたいと思っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3		保護者会の設立を目指しているところです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		苦情があった場合、迅速に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	毎月、ひっぽだよりを作成をし、児童の活動の様子をお伝えしています。	今後も、児童の活動がわかるようなひっぽだよりの作成に努めていきたいと思っています。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	鍵付の書庫を用意しており、鍵は責任者が管理している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	何かあれば、通所児童の全保護者とのやり取りを密にしています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	7		コロナの影響もあり、外部のイベント事への参加を控えていました。コロナが落ち着いてきたら、またイベントへの参加も積極的に参加していきたいと思っています。
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0			

非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	月に1回、児童と職員で避難訓練を行っています。また、年に1~2回、阿倍野区防災センターへ見学に行き、防災の学習を行っています。	全児童が避難訓練に参加できるように、長期休み等を利用して、平日での避難訓練の実施を考えていきたいと思っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	定期的な研修を行っています。	会社で虐待防止・身体拘束委員会を設置しており、対応は迅速にがモットーにしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	必要である場合は、個別支援計画書へ身体拘束等の旨を記入するようにしています。(今のところ、必要な児童はいません)	会社で虐待防止・身体拘束委員会を設置しており、対応は迅速にがモットーにしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	契約時のアセスメントシート作成時に聞き取りをし、4か月に1回の個別面談時にもアレルギー等の再確認を行っている。	児童の日々の様子観察等、変化があれば、その都度の保護者の方との情報共有をし、児童の健康管理に努めています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		小さな出来事も作成していきたいと思っています。